

最近の主な地震と被害の概要

| 最近の主な地震 | 地震と被害の概要 |
|---|--|
| 平成 7 年 1 月 17 日 【兵庫県南部地震】 (阪神・淡路大震災) | 震源： 淡路島の北東、深さ 16km (M7.3) 被害： 死者 6,434 人、行方不明者 3 人、住家全壊 104,906 棟、半壊 144,274 棟 概要： 「震災の帯」と呼ばれる地域では、住宅の倒壊や火災による延焼などにより、旧基準の震度 7 に相当する甚大な被害が発生し、戦後最大の死者数を記録した。 |
| 平成 16 年 10 月 23 日 【新潟県中越地震】 | 震源： 新潟県中越地方の深さ 13km (M6.8) 被害： 死者 46 人、住家全壊 2,827 棟、半壊 12,746 棟 概要： 震度計により初めて震度 7 が観測され、大規模な地すべりに伴い道路が寸断し、多数の孤立地域が発生した。 |
| 平成 19 年 3 月 25 日 【能登半島地震】 | 震源： 石川県輪島市南西沖 40km、深さ約 11km (M6.9) 被害： 死者 1 人、住家全壊 684 棟、半壊 1,733 棟 概要： 最大震度 6 強を記録した。沿岸部の沖積低地に住家被害が集中し、落石や陥没により多くの道路が通行止めとなった。 |
| 平成 19 年 7 月 16 日 【新潟県中越沖地震】 | 震源： 新潟市の南西沖約 60km、深さ約 60km (M6.8) 被害： 死者 15 人、住家全壊 1,319 棟、半壊 5,621 棟 概要： 柏崎市、刈羽村などで最大震度 6 強を観測し、多くの住家に被害が発生した。庁舎や学校建築物にも被害が発生した。 |
| 平成 20 年 6 月 14 日 【岩手・宮城内陸地震】 | 震源： 岩手県南部、深さ約 8km (M7.2) 被害： 死者 13 人、行方不明者 10 人、住家全壊 30 棟、半壊 143 棟 概要： 宮城県栗原市と岩手県奥州市で最大震度 6 強を記録した。岩手・宮城県境の栗駒山周辺で複数の河道閉塞が発生した。 |
| 平成 23 年 3 月 11 日 【東北地方太平洋沖地震】 (東日本大震災) | 震源： 三陸沖、深さ 24km (Mw9.0) 被害： 死者 19,475 人、行方不明者 2,587 人、住家全壊 121,744 棟、半壊 279,107 棟 ※平成 28 年 9 月 1 日現在 (総務省消防庁) 概要： 国内観測史上最大 (1900 年以降、世界で 4 番目) の地震であり、宮城県北部で震度 7、岩手県から千葉県にかけて震度 6 弱以上の強い揺れを観測するとともに、東北地方を中心とした各地で大きな津波を観測した。関東地方では大規模な液状化現象が発生した。この地震により、明治以降では関東大震災 (1923 年大正関東地震) に次ぐきわめて深刻な人的被害がもたらされた。 |
| 平成 28 年 4 月 14 日・16 日 【熊本地震】 | 震源： 熊本県熊本地方、深さ 12km (M7.3) ※16 日の本震 暫定値 被害： 死者 193 人、住家全壊 8,414 棟、半壊 33,056 棟 ※平成 29 年 2 月 1 日現在 (総務省消防庁) 概要： 熊本県では 14 日の前震、16 日の本震ともに震度 7 を観測し、多くの住家が被災した。指定都市を襲った大地震であり、避難所への避難者数は、最大 19 万人以上に達した。 |